インスメッドメディカルWebinar

気管支拡張症の最前線: エビデンスを踏まえた管理戦略





山田 充啓 先生

東北大学大学院医学研究科内科病態学講座 呼吸器内科学分野 講師

日時

2024年10月22日(火) 19:00~20:00

本Webセミナーは追いかけ再生に対応しております。 Webセミナー終了前までに視聴を開始されると、追いかけ再生による視聴が可能です。

視聴方法

詳しくは裏面をご確認ください。

NTM navi(NTM症に関する医療従事者向け情報サイト)https://www.ntmnavi.jp/



主催:インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部



録

気管支拡張症の最前線:エビデンスを踏まえた管理戦略

気管支拡張症は特発性も含めて様々な原因、病態によって生じる慢性呼吸器疾患であり、その定義として、気管支拡 張を示唆する画像所見をもち、かつ咳嗽と喀痰を特徴とする慢性的な症状をもつ臨床症候群である。

気管支拡張症はその病因、病態が多様であり、治療法も限られていることから、長い間注目されてこなかった。しか しながら、諸外国も含め、2000年代に入り、気管支拡張症の発生率と有病率の増加が報告されるようになり、再認識さ れるようになった。これは、肺疾患の評価にCTが使用されるようになり、疾患の認知度が向上したためと考えられてい るが、基礎疾患の増加も関係している可能性がある。

気管支拡張症の病態として、まず、1986年に「悪循環(vicious cycle)モデル」を提唱された。これは、慢性感染→ 好中球性炎症→粘液線毛クリアランスの低下→気道壁の傷害→さらに慢性感染が悪化して、気管支拡張症の病態が進行 するというモデルである。この考えに基づき、慢性感染を抑制することを目的とした臨床試験が実施されたが、十分な 効果が得られず、慢性感染だけを制御しても気管支拡張症の病態進行は制御できないということが指摘された。そこ で、2018年に気管支拡張症の病態として「悪性渦巻(vicious vortex)モデル」が新たに提唱されている。悪性渦巻モデ ルでは、悪循環モデルの4つの要因はその順番が重要ではなく、それぞれが相互に影響し病態が進行するというモデル である。最近、この病態要因の中で、気管支拡張症患者における好中球性炎症・好中球の機能異常が注目されており、 疾患活動性のバイオマーカーや治療の標的として、好中球、および関連分子が評価されている。

気管支拡張症は異質な疾患であり、単独の疾患として遭遇することもあれば、喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)など 他の呼吸器疾患と合併することもある。また、気管支拡張症は関節リウマチ等の自己免疫疾患や炎症性腸疾患、免疫不 全症候群、慢性副鼻腔炎や消化管逆流症など他臓器疾患と合併することもある。よって、気管支拡張症に対する認識を 高めることは、早期の診断とそれに続く適切な治療、管理をする上で重要である。気管支拡張症の予後不良因子のとし て、頻回な増悪が指摘されており、増悪頻度を減らすことは主要な管理目標である。

本講演では最新のエビデンスを踏まえ、気管支拡張症患者の診断、治療、管理戦略について今後の展望も含め論じて いきたい。

ご視聴方法

本Web講演会は「日経メディカルOnline」でご視聴いただけます(登録・視聴無料)

申込URL https://nkbp.jp/ains007

ログイン (会員登録)後、上記のURL から事前に視聴のご予約をお願いいたします。

- ※お申込みは 10月8日 (火) 10時から 可能です。
 ※事前にご予約いただかないと視聴できませんのでご注意ください。
- ※会員登録に時間がかかる場合がございますので、開催の1週間前を目安にご登録をお願いいたします。 ※ご視聴は医師会員に限定させていただいております。

申込URL https://nkbp.jp/ains007



日経メディカル Online会員以外の先生はこちらからご視聴ください

視聴ページへのアクセス

ブラウザを起動して、アドレスバーに下記のURLをご入力、もし くは二次元バーコードを読み取ってアクセスください。



https://re.m3dc.live/insmed20241022

ID: insmed パスワード: 241022

Web講演会の本番視聴



- 1 視聴URLにアクセスします。
- 2 情報入力を行い「視聴する」ボタンを 押下してください。
- 3 視聴画面の「再生」ボタンをクリックします。

事前申込サイト

補足: 事前視聴確認 Web講演会の前日までに、当日と同じ視聴環境で必ず事前視聴館認を行ってください。

情報入力ページにアクセスし「視聴環境確認」をクリックしてください。速度チェック及び視聴チェックを実施し、不具合がないかご確認ください。